



S1-B1

Fujitsu Experience Day 2026

機密データの安全なAI活用へ

国産AIサーバ×オンプレミスAIで実現する「ソブリンAI基盤」とは

富士電機ITソリューション
デジタルイノベーションセンター長
野中 洋志

エフサステクノロジーズ株式会社
取締役 プロダクト部門長
旅家 一彰

2026.07.15

旅家 一彰 / Taya Kazuaki

エフサステクノロジーズ株式会社
取締役 プロダクト部門長

- 1998年 富士通入社・ストレージシステム実装構造設計に従事
- 2011年 同社 品質保証本部品質企画統括部長
- 2019年 同社 プラットフォーム品質本部長
- 2020年 同社 インフラストラクチャシステム事業本部長代理
- 2024年 エフサステクノロジーズ株式会社
プロダクト部門コアプロダクト事業本部長
- 2025年 同社 プロダクト部門副部門長
- 2026年 同社 取締役 プロダクト部門長



エフサステクノロジーズは、製販保守一体の ハードウェアソリューショントータルプロバイダーとして発足

FUJITSU

通信情報処理機器の
保守事業を分離

1989年
富士通カスタマ
エンジニアリング
設立

C/Sの導入展開サービス
富士通サポート・
テクノロジーと合併

1996年
富士通サポートアンド
サービス発足

ハードウェア
(開発・製造)

インフラ・役務

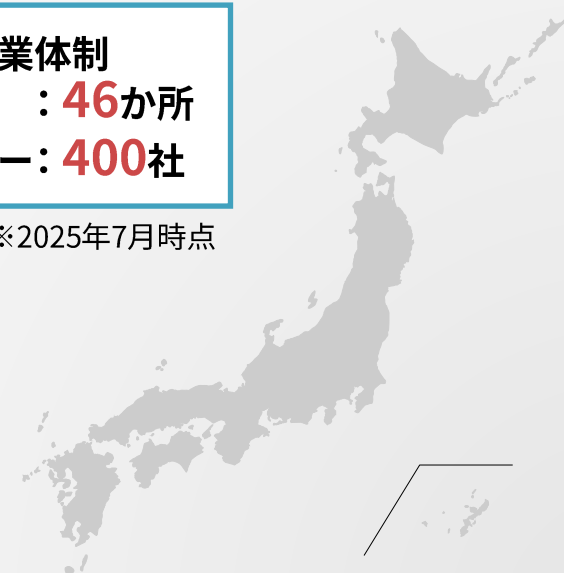
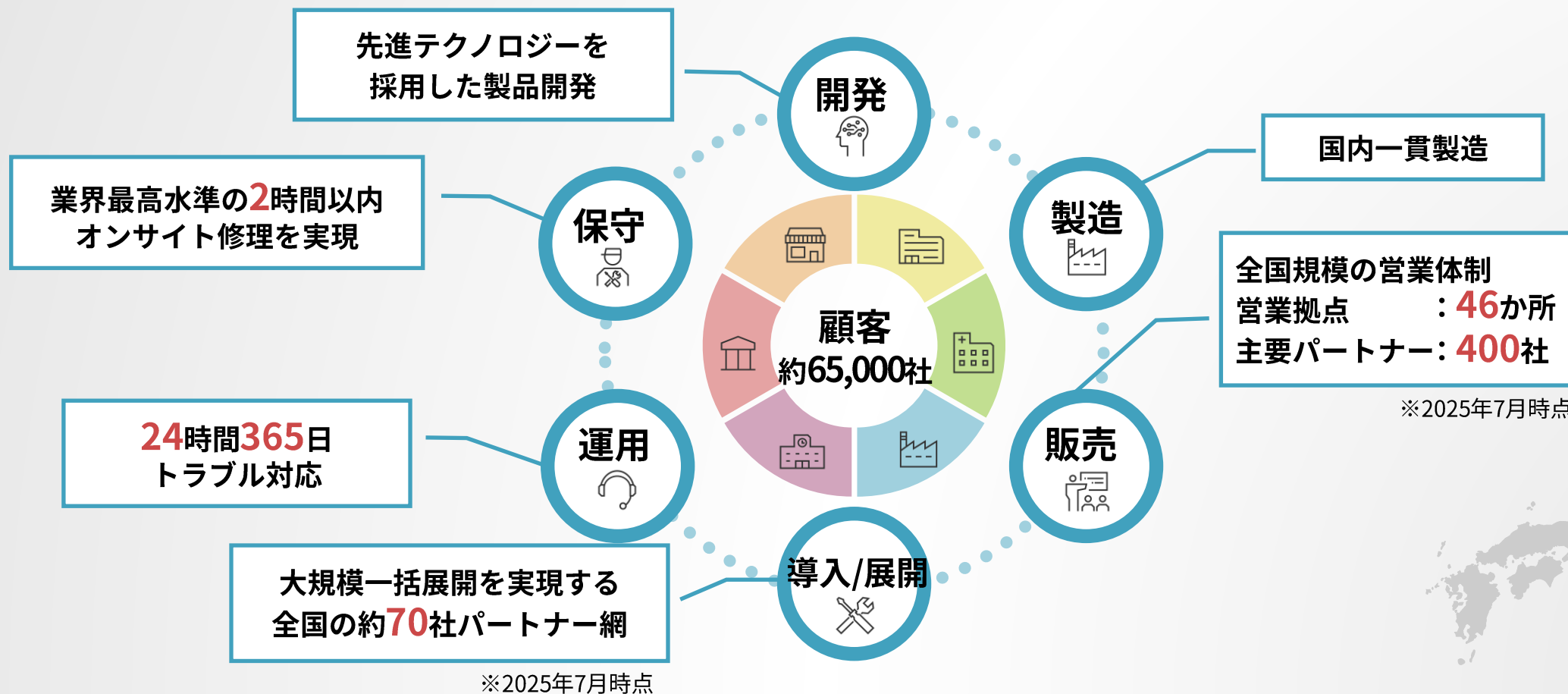
2007年
富士通エフサス
に社名変更



Fsas Technologies

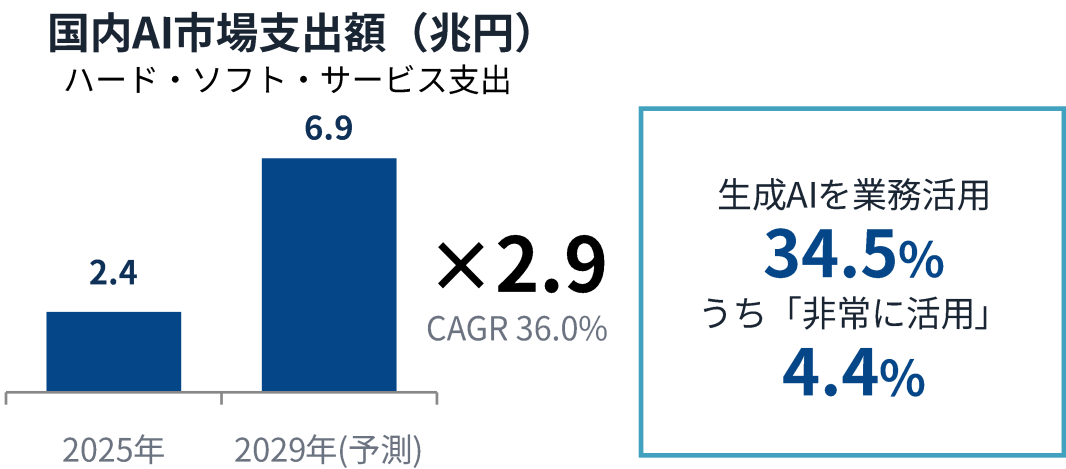
2024年
エフサステクノロジーズ
発足

ハードウェアの開発から製造・品質保証・サポートまで国内で一貫して実施



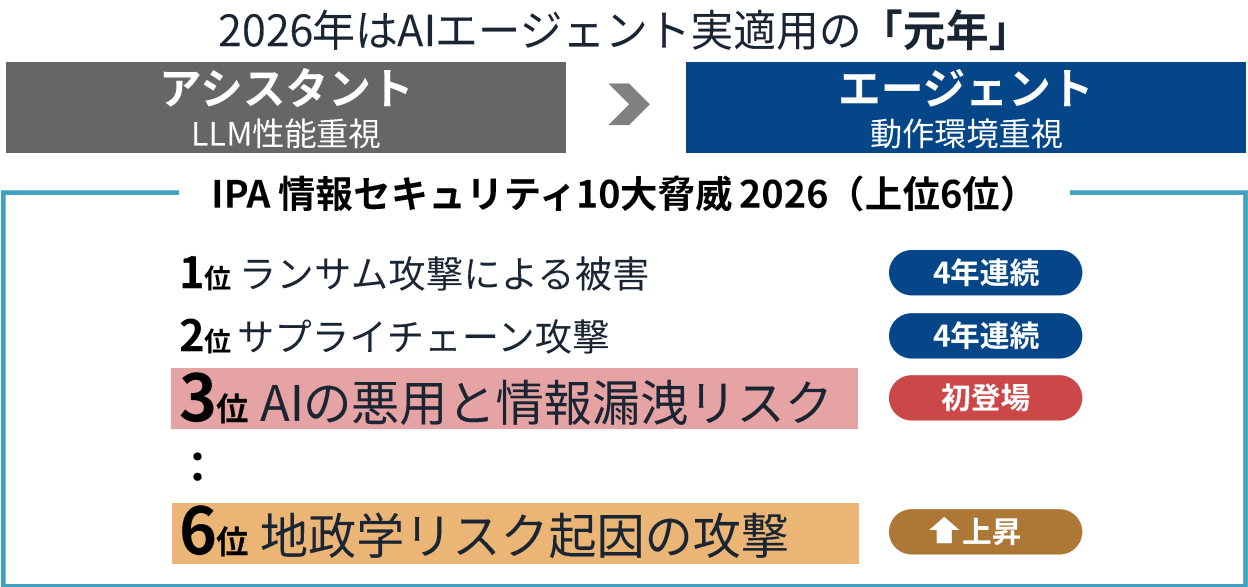
AI活用は「聞くAI（アシスタント）」から「実行するAI（エージェント）」へ質が変わる

市場の状況



出典：エフサステクノロジーズ株式会社がIDCのデータに基づき推定

世の中の流れ



出典：IPA 情報セキュリティ10大脅威 2026

今後考慮すべきポイント

LLM性能に加え「ソブリティ」

ITインフラにおけるソブリン性

インフラ領域で自ら主権を持ち、他国・他社に左右されずに制御

法的主権

日本国内の法令に準拠

テクノロジー主権

技術の更新・制御を国内で実施

データ主権

海外データ流出リスク最小化

運用主権

国内人材による運用

セキュリティ主権

セキュリティリスクの透明性確保

経済安全保障推進法 特定事業者15業種^{*}には
重要設備の安定供給 説明責任 事前リスク評価義務
が求められる

海外法規制安全保障上のリスク

社会基盤を支えるシステムにおいて、データの所在や
管理主体が海外の場合、法令遵守や安全保障面でリスク

地政学リスクとサイバー脅威の高まり

国際情勢の変化やサイバー脅威の高まりを受け、
重要情報の保護が急務

災害時を含む事業継続要求

政府・金融・医療などの社会基盤システムは、
災害時の事業継続を含む複合リスクに直面

機密情報の安全な取り扱い

生成AIの活用が広がるほど、機密情報を安全に扱うこと
への要求が強まる

^{*}: 電気、ガス、石油、水道、鉄道、貨物・自動車輸送、外航運輸、港湾輸送、航空、空港、
電気通信、放送、郵便、金融、クレジットカードの15業種

地政学的な緊張やデータ主権へのニーズの高まりに対し、富士通グループは信頼できるテクノロジーを提供

AIの競争軸は「モデル性能」から「ソブリンティ」へ

- ・ 経済安全保障等の観点から、ソブリン性の高いAI基盤（ソブリンAI基盤）が注目
- ・ 政府によるガバメントAI整備や国産LLM開発促進
- ・ 個人情報保護法の改正*～AI利用データの越境移転に関するルール厳格化 *26年4月閣議決定



ソブリンAIの提供

- ✓ 安心して使えるAI
- ✓ 主権を守れるAI
- ✓ 現場に実装できるAI

富士通グループ ソブリンAI提供形態



先端AI技術 ワンパッケージ

先端AI技術「Fujitsu Kozuchi」
をワンパッケージで提供



ハード+LLM

世界一の日本語性能を持つLLM
「Takane」を構築済



ハード

ソブリン性の高い
Made in Japan GPUサーバを提供

Knowledge/Solution	パートナー様	パートナー様	パートナー様
Function	Fujitsu Kozuchi		
Model	Takane	Takane	OSS LLM
Computing	Made in Japan プライベートクラウド/オンプレ	Made in Japan プライベートクラウド/オンプレ	Made in Japan プライベートクラウド/オンプレ

垂直統合

Fujitsu Kozuchi
Enterprise AI Factory



Generative
AI Platform

プライベートクラウド

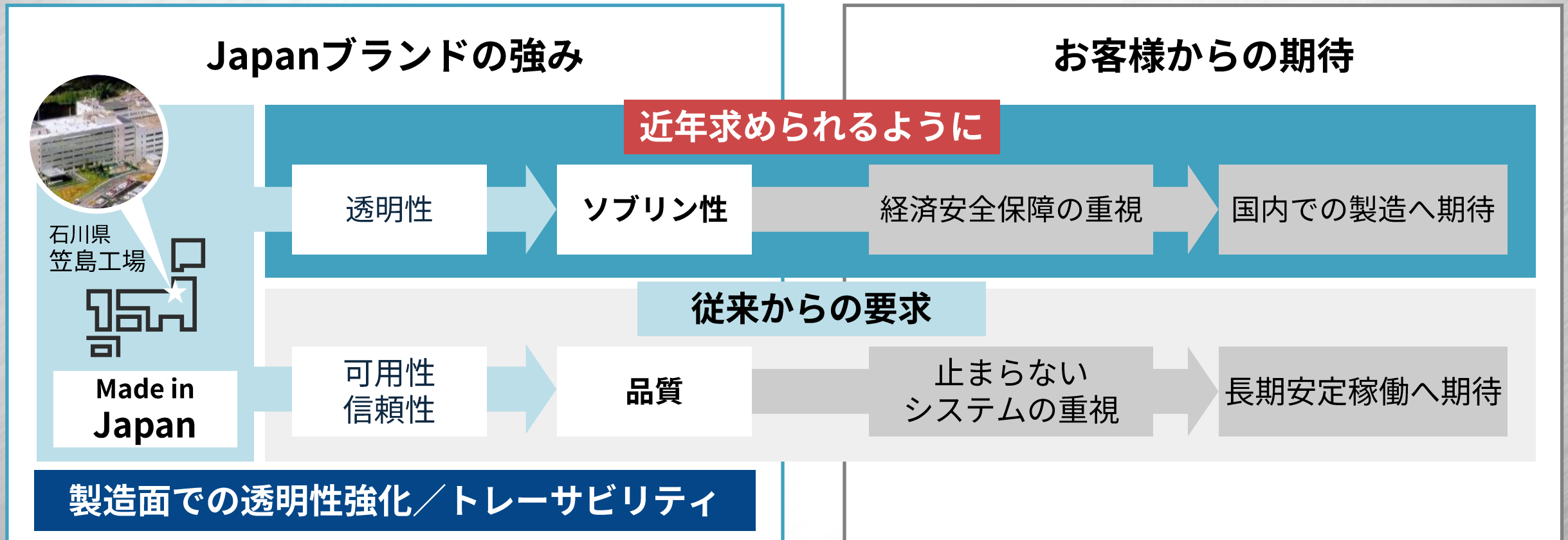


Private AI Platform
on PRIMERGY

オンプレミス

ソブリン性・品質を兼ね備えた製品を提供

「Made in Japan」の意義：ソブリン性、信頼性、安定供給性を提供しビジネスを止めない



「Made in Japan」製品は日本国内拠点の石川県笠島工場で製造

電子部品

筐体(グローバル標準品)

プリント基板実装

装置組立

システム組立

ラック組立

富士通グループ
(Made in Japan製品)

部品
サプライヤー



富士通グループ (石川県笠島工場)
スパコン「富岳」「京」の製造実績

富士通グループ
(従来のSupermicro
OEMサーバ)

部品
サプライヤー



協業ベンダー (海外)



富士通グループ

他社サーバ
*当社調べ

A社

海外



国内

B社

海外



国内

- FY25 GPUサーバ採用実績 58社（内訳：お客様43社、パートナー様15社）
- PAPPを軸としたエコシステムの拡大

LLM拡大 on PAPP

FUJITSU Takane



OSS 生成AI

Gemma4

Google

gpt-oss-120b

Open AI

Nemotron3 Nano

NVIDIA

検証環境ワークショップ

 SB C&S

体感ワークショップ
AI-PoCサービス

ソブリンAI基盤



オンプレミスLLM基盤



国産GPUサーバ



ストレージ



スイッチ

お客様の強みの AIソリューション on PAPP

DNP

ドキュメント構造化AI

（25年11月提供開始）

RICOH

LLM搭載モデル

（25年12月提供開始）

UCHIDA

AIサーチソリューション
(MugenGAI)

（25年7月提供開始）

 neoAI

neoAI Chat

（26年7月提供開始）

機密データの安全なAI活用へ 国産AIサーバ×オンプレミスAIで実現する「ソブリンAI基盤」とは

富士電機ITソリューション

デジタルイノベーションセンター長

野中 洋志



 富士電機ITソリューション株式会社

ローカル生成AIによる業務高度化と自走型組織への変革

～Private AI Platform on PRIMERGYによる
ドメスティック・ソブリンティの確保～

2026年 7月 15日

 **富士電機ITソリューション株式会社**
デジタルイノベーションセンター長 野中 洋志

企業概要

社名	富士電機ITソリューション株式会社 Fuji Electric IT Solutions Co.,Ltd.
設立	2004年4月1日
資本金	10億円
主な株主	富士電機株式会社 91% 富士通株式会社 8%
売上高	1341億円（2025年度）
従業員数	884名(2026年4月1日)
本社	東京都千代田区外神田6-15-12
事業内容	民需・公共・文教のお客様に DXを推進するICTソリューションの開発・販売・ 運用支援・保守サービスをご提供

事業概要

その思い、未来をつくる。



FE 富士電機 ITソリューション株式会社

富士電機グループの一員であり、かつ富士通パートナー企業である当社は、その強固なバックボーンを活かし、安心して高品質なサービスを提供します。

1. 取り組みの全体像

導入の背景

導入の工夫

2. 実績

導入の成果

事例

当社のAI利用状況



汎用的な生成AIとして
Geminiを利用



業務効率化の生成AIとして
Private AI Platform on PRIMERGYを利用

※資料中 PAPPと表記しているところがあります。

1. 取り組みの全体像 –導入の背景

生成AIで業務効率を改善したいがリスクが心配で簡単に導入できない

外部と隔離された「安心・安全な箱」



利用ガイドライン



導入

FTI 社 Private AI Platform on PRIMERGY

Small



RX2540 M7
GPU L40Sx1

AIアプリケーション

検索拡張生成機能
(RAG)

テキスト生成機能
Google Gemma3

機密データを安全に扱えるプライベート環境向けのソブリンAI基盤
インターネットにつなぐことなく利用可能な生成AI

機密文書



個人情報・機密情報

社内規定

ガイドライン

セキュリティの壁



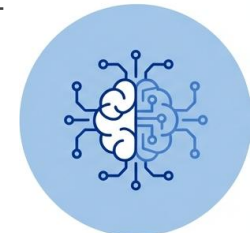
著作権侵害



データ漏洩



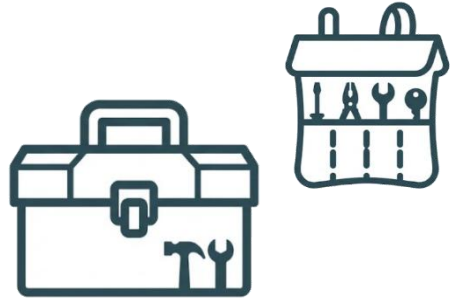
突然の利用停止



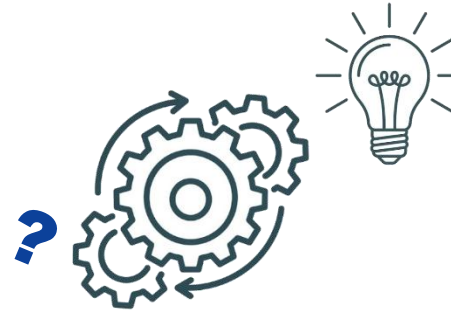
クラウド
AI

1. 取り組みの全体像 –導入の工夫

AIアプリを開発できる環境（Dify）とともに、全従業員に生成AIを開放



自分たちの業務改善は
自分たちで行う

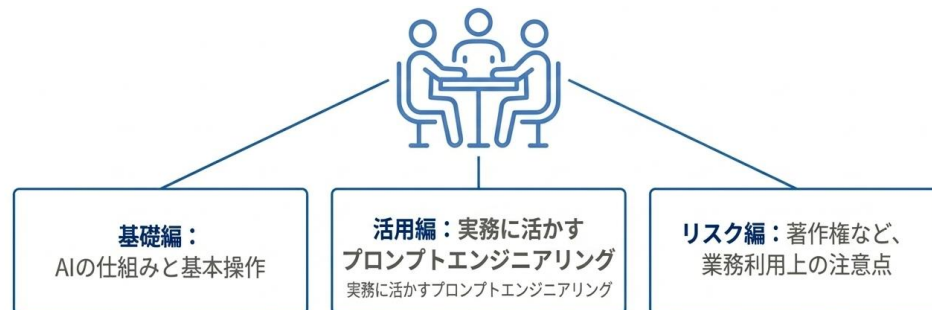


試行錯誤は必要だったが
その分理解が深まった



部門間で情報を共有し
業務効率化の垣根を払拭

【教育】AIネイティブな組織文化の醸成



作成されたAIアプリ

190

全部門で 計190のアプリを作成

利用実績

導入12ヶ月で全従業員の約95%にあたる840名が日常的に利用

【PAPP利用累計】



カテゴリ	主な活用内容の例
1. 資料レビュー／チェック	成果物の検品、記述漏れやルール違反の自動判定
2. 社内ナレッジの活用	就業規則、業務マニュアル、技術情報への問合せ対応
3. ドキュメント生成	報告書の文面／構成案アイデア創作

利用トークン： 2億

5,500時間／年の 業務時間創出

2. 実績 -事例 1 資料レビュー／チェック

例 プログラムコードのレビュー（解析）

効果 デバッグ時間／レビュー時間の削減

プログラムソースコードのレビュー

以下のJavaソースのレビュー（指摘）をお願いします。

```
package com.example.demo.controller;

import java.sql.Timestamp;
import java.text.SimpleDateFormat;
import java.util.List;

import javax.servlet.http.HttpServletRequest;

～ 略 ～

if(model.getLampRed()==null
    &&model.getLampYellow()==null
    &&model.getLampGreen()==null
    &&model.getLampBlue()==null
    &&model.getLampWhite()==null) {
    return true;
}
return false;
}
```

テスト前に問題点の
修正が可能

【今年度 生成AI利用KPI】
5,000時間の創出

Javaソースコードレビュー

このコードは、工程実績入力
の改善点、潜在的な問題点

改善点の提示

全体的に良く書けていると思います。しかし、いくつ

1. 全体的な改善点

- **ロギングの改善:** `e.printStackTrace()` は、具体的なエラーメッセージを出力されません。より詳細なログ情報を記録し、例外の種類や発生場所を特定できるようにする必要があります。`AppLogUtils.error()` を使用していますが、例外の内容をログに含めるように修正することを推奨します。
- **エラーハンドリングの改善:** `forward:/error` へのフォワードは、具体的なエラーメッセージをエラーページにエラーの種類、スタックトレースなどの情報を渡すように修正することを検討してください。
- **マジックナンバーの排除:** `Constants.SYNC_WINDOW_CHANGE` や `Constants.SYNC_WINDOW_CHANGE` のようなマジックナンバーは、その定数の意味が明確にわかるように、Javadocコメントを追加することを推奨します。
- **冗長なコードの削減:** 多くのメソッドで、セッションが有効かどうかを確認しているため、ユーティリティメソッドを作成することを検討してください。
- **可読性の向上:** 一部のメソッドが長すぎるため、より小さなメソッドに分割することを推奨します。
- **NullPointerExceptionの可能性:** `getSelectedInfo` メソッドで、`processSelect` が null の場合の処理を追加することを検討してください。
- **可読性の高い変数名:** `tProcessStatusBf` や `tProcessStatus` のような変数名は、よりわかりやすい変数名を使用することを推奨します。

不要処理
の指摘

コーディングミス
の指摘

2. 個別の指摘

- **getProcessRecodeInput:** メソッド名が `getProcessRecodeInput` ですが、GETメソッドとして機能しているわけではないので、`getProcessRecodeInput` を削除して `processRecordInput` に変更することを推奨します。

推奨する修正案
の提示

3. コード例(改善提案)

以下は、いくつかの改善提案のコード例です。

修正コード例の
提案

```
Java
// ユーザー情報を取得するユーティリティメソッド
private LoginUserDetails getLoginUserDetails(LoginUserDetails loginUserDetails) {
    Object principal = SecurityContextHolder.getContext().getPrincipal();
    if (principal instanceof LoginUserDetails) {
        return (LoginUserDetails) principal;
    }
    return null;
}
```

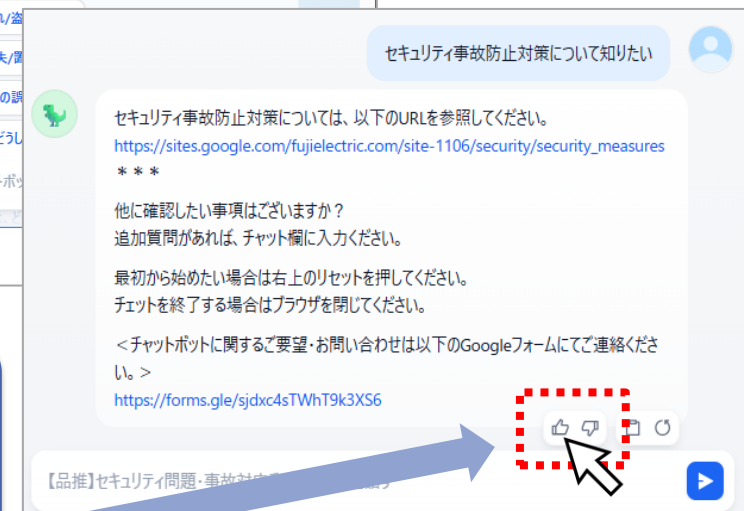
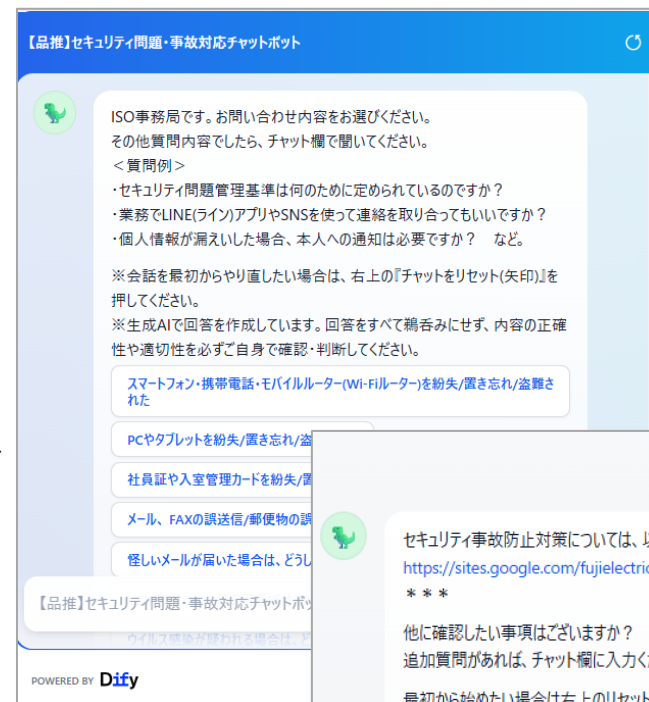
2. 実績 -事例2 社内ナレッジの活用

例

セキュリティに関するルールの問い合わせ対応のAI化

効果

QA対応要員の工数削減／利便性向上



「いいね」ボタンを設置し、
回答精度を評価



【今年度 生成AI利用KPI】
問合せ対応時間 30%削減

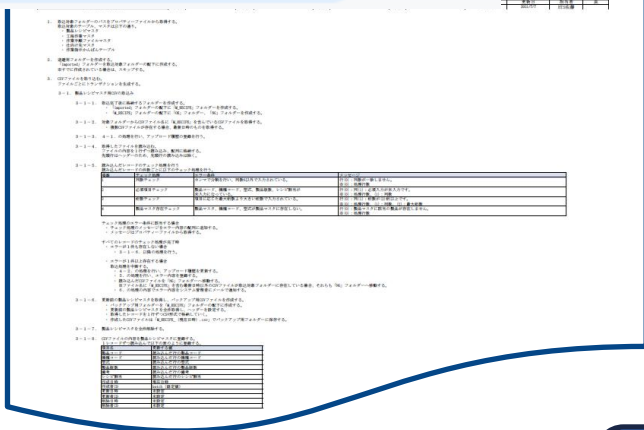
2. 実績 -事例3 ドキュメント生成

例 開発ドキュメントの自動生成

効果 仕様書作成の工数削減、試験漏れ低減

設計書から試験仕様書の作成

この基本設計書から試験仕様書を作成してください。



試験仕様書のたたき台
(第0版)として利用可能

【今年度 生成AI利用KPI】
3,000時間の創出

試験仕様書：CSVファイル取り込み機能

1. 概要

本試験仕様書は、提示された基本設計書に基づいて作成されるCSVファイル取り込み機能の試験内容を定義するものです。各テーブル（製品レシピマスタ、工程作業マスタ、作業手順ファイルマスタ、仕向け先マスタ、作業指示かんばんテーブル）のCSVファイル取り込み機能が、設計仕様通りに動作することを確認することを目的とします。

2. 試験環境

OS: (設計書に記載なし。試験環境に合わせて設定)
データベース: (設計書に記載なし。試験環境に合わせて設定)
その他必要なツール: (設計書に記載なし。試験環境に合わせて設定)

3. 試験項目と手順

各テーブルに対して、以下の試験項目を実施します。

3.1. 製品レシピマスタ (M_RECIPE)

正常系

ファイル形式 (csv) とエンコーディング (設計書に記載なし。試験環境に合わせて設定) が正しいこと。
有効なデータ (必須項目入力、桁数チェック、製品マスタ存在チェックをパスするデータ) を含むCSVファイルを正常に取り込むこと。

取り込み後、該当データのバックアップ用CSVファイルが生成され、データベースと一致すること。

異常系

列数チェックエラー (データファイルの列数が設計仕様と異なる) を発生させるCSVファイルを取り込み、エラーメッセージが期待通り表示され、処理が中断されること。

必須項目チェックエラー (必須項目が未入力の場合) を発生させるCSVファイルを取り込み、エラーメッセージが期待通り表示され、処理が中断されること。

桁数チェックエラーを発生させるCSVファイルを取り込み、エラーメッセージが期待通り表示され、処理が中断されること。

マスタ存在チェックエラーを発生させるCSVファイルを取り込み、エラーメッセージが期待通り表示され、処理が中断されること。

「M_RECIPE」を含む最新日時以外のCSVファイルが正常に取り込まれること。
ロールバック、エラーメール送信、アップロード履歴更新、NGフォルダへの移動が正常に行われること。

3.2. 工程作業マスタ (M_PROCESS_WORK)

正常系、製品レシピマスタと同様の試験を実施する。

必要となる
項目の提示

正常系・異常系の
記載

試験項目
の列挙

2. 実績 -事例 4 ドキュメント生成（写真の分析）

例 写真（現場写真など）からのリスク分析

効果 客観的なリスク指摘と改善案

作業現場写真からリスクの分析

改善項目と改善案の提示



この事務所（フロア）の写真から改善項目の抽出と改善案の提示をお願いします。

写真拝見しました。この事務所（フロア）の写真を分析し、改善項目と改善案を提示します。

改善項目の提示

1. レイアウトと空間利用の改善

- 改善項目:
 - スペースの有効活用: 空間が広く、やや無駄スペースが見られます。
 - ホワイトボードの位置: 右側のホワイトボードが部屋の隅にあり、場所によっては目立たない使い勝手が悪い可能性があります。
 - 家具の配置: 椅子がやや散らばっている。
- 改善案:
 - 家具の再配置: テーブルや椅子をより効率的に配置する。
 - 収納の追加: 壁面収納を追加し、空間を広く見せる。

2. デザインと雰囲気の改善

- 改善項目:
 - 単調な色合い: 全体的に白とグレーの配色で、アクセントの不足。観葉植物以外に、色とりどりの装飾品を追加する。
 - カラーの導入: 観葉植物の緑色を活かす。ベージュや落ち着いたブルーなどを小規模に導入する。
- 改善案:
 - 観葉植物の配置: 部屋の隅や通路に観葉植物を配置し、自然の緑を引入る。
 - 小規模な装飾品の設置: 壁面やデスクに小規模な装飾品を設置し、空間を彩る。

改善案の提示

事務所のフロア改装工事中的の写真です。この写っている範囲でリスク抽出をお願いします。

写真から判断できる範囲で、事務所フロア改装工事中的のリスクを抽出します。

作業現場の安全リスク

安全に関わるリスク

- 転倒・落下リスク:
 - 床材が剥がされ、滑りやすくなる可能性があります。関係者が転倒する可能性があります。
 - 足場がない部分での作業は、高所からの落下リスクがあります。
 - はしごが不安定な場所に置かれているため、作業中に倒れる可能性があります。
 - 工具（電動ドライバー）が放置されている。
- 粉塵・飛散物リスク:
 - 工事による粉塵が発生し、呼吸器系に影響を与える可能性があります。
 - 作業中の飛散物（木くず、塗料など）が目に入ったり、体に当たったりするリスクがあります。

工事リスクや改善の提案等

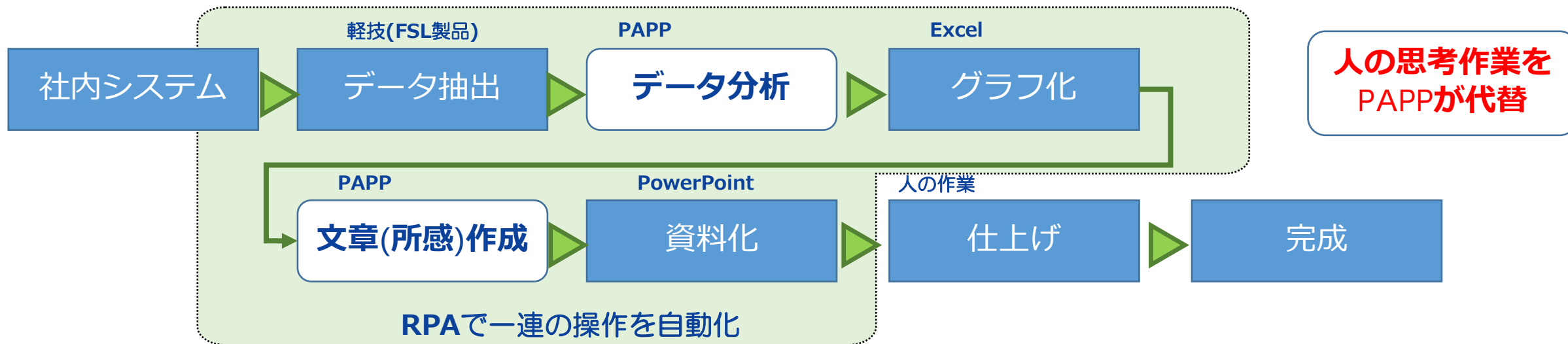
【今年度 生成AI利用KPI】
現場事故 0件

「カイゼン」の素案として
利用可能

5 Sチェック作業として
利用可能

2. 実績 -事例 5 社内システムとの連携

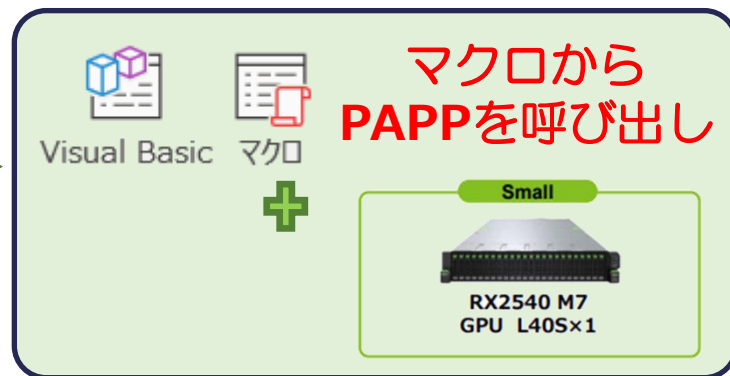
- AI単体利用だけではなく、**RPAやマクロを組み合わせることにより**、社内システムとの連携やファイル操作などを自動化



申請書／
報告書

作業計画書、申請書、報告書に活用	
1. 作業内容	作業内容
2. 実施時期	実施時期
3. 実施場所	実施場所
4. 作業対象	作業対象
5. 作業日時	作業日時
6. 備考	備考

概要



作業計画書、申請書、報告書に活用	
1. 作業内容	作業内容
2. 実施時期	実施時期
3. 実施場所	実施場所
4. 作業対象	作業対象
5. 作業日時	作業日時
6. 備考	備考

人が入力した概要から
AIが内容を記入



ご清聴ありがとうございました

その想い、未来をつくる。

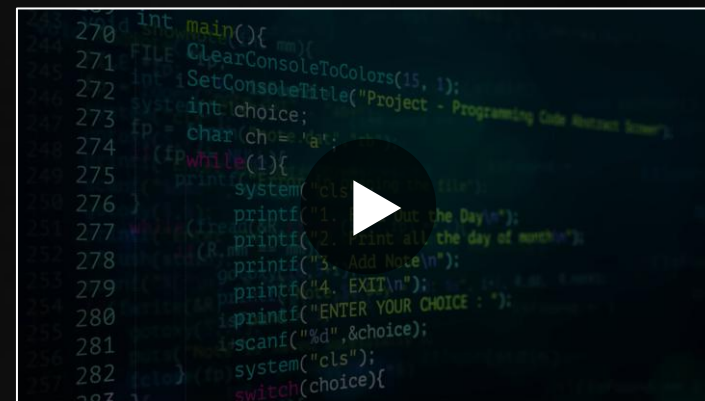
FE 富士電機ITソリューション株式会社



AIエージェントデモ

ユースケース1

コーディングエージェントが
業務アプリを自律生成



ユースケース2

マルチエージェントによる
営業支援



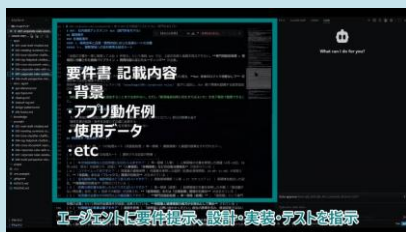
コーディングエージェントが業務アプリを自律生成

- ✓ 業務アプリの要件書を渡すだけで **設計・実装・テストまでを自律実行**
- ✓ 失敗時も **原因特定～修正まで自走**。人手の介入を最小化

STEP 01

要件提示

業務内容・アプリの動作仕様を含む要件書を入力



STEP 02

タスク分解

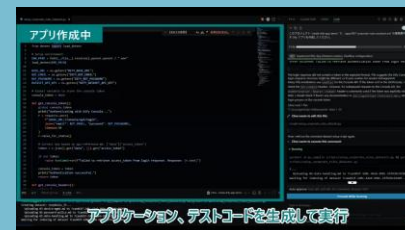
エージェントが開発工程のタスクを生成



STEP 03

生成 & 実行

アプリ本体とテストコードを生成し、即座に実行・検証



STEP 04

アプリ完成

最小の人手介入でアプリを利用開始



詳細は展示ブースでもご確認いただけます

マルチエージェントによる営業支援

- ✓ 音声から要約・質問・提案資料までをリアルタイムに自動生成
- ✓ オンプレミス基盤で機密情報を守り、商談の質とスピードを両立

STEP 01

会話の文字起こし

マイクを選択し録音開始。
リアルタイムに文字起こし



音声を即時テキスト化・話者識別

STEP 02

会話の構造化

会話ログを自動要約し、
商談状況を可視化

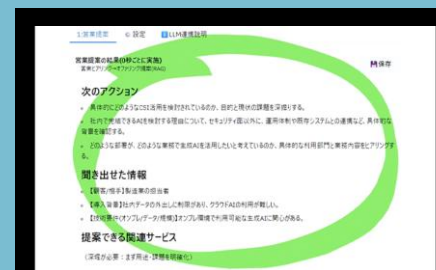


会話をリアルタイム要約

STEP 03

次アクション提案

未確認事項を自動検知し、
深掘りすべき質問案を提示



聞き漏らしをAIがコーチング

STEP 04

資料の自動連係

文脈にあった
提案資料を社内資産
から自動レコメンド



最適資料を即時提示

01

AI基盤の透明性・トレーサビリティの確保

重要業務を任されるエージェントには、実行環境に対する説明責任が必要

02

開発情報に対するデータ主権の確保

要件書・設計書・ソースコードなどの機微な開発情報を自社管理の下でAI活用できる環境が必要

03

自律実行に伴うコスト増大の制御

生成・実行・修正を繰り返すエージェント利用では、従量課金の利用料金が急増しやすく費用管理が必要

04

強い権限を持つAIの安全な運用

業務システムや機密性の高い情報にアクセスするエージェントに対し、適切な実行制御と権限管理が必要

01 Made in Japanサーバにより主権を確保

02, 03 完全オンプレミス運用可能なAI基盤

Private AI Platform on PRIMERGY

Very Smallモデル

少人数での利用、トライアル利用
最小構成モデル



Smallモデル

社内での生成AI活用
スモールスタート



Mediumモデル

精度のより良い中規模モデル利用
Smallからのスケールアップ



Largeモデル

大規模モデル利用
高可用性、実践的な学習用途



導入・保守サービス、すぐ使えるDifyのサンプルアプリ ※Takaneはオプションになります。

Interop Tokyo 2026出展企業の新製品・サービスから「今年を代表する一品」を選出する Best of Show Awardにエントリーし、2製品がファイナリストに選出されました。

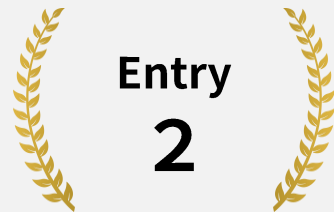


Entry
1

オンプレミスAI基盤

「Private AI Platform on PRIMERGY」

部門：エンタープライズ&クラウド（アプライアンス）



Entry
2

PRIMERGY CDI V2

部門：サーバー&ストレージ

04 強い権限を持つAIの実行基盤・データ・権限を守り、安全な運用を実現

コンピューティング セキュリティ

UTM等従来型セキュリティ
ソリューション



IPCOM EX3



PA-Series



NGFW



SHieldWARE

データセキュリティ

データバックアップ
データをAIが安全に二次利用



Veeam Data Platform



Data Protect / Gaia

セキュリティ for AI (10月以降順次提供)

AIを安全に活用するための
最適なセキュリティソリューションを提案

(以下代表的な商用製品)



Prisma AIRS



Cisco AI Defense



FGuardrails / Redteam



AIGate

1

ソブリティ

主権を守る

品質・透明性・
トレーサビリティ

2

コスト制御

オンプレミスで動かす

AIエージェント利用時の
コスト変動リスクを抑制

3

セキュリティ

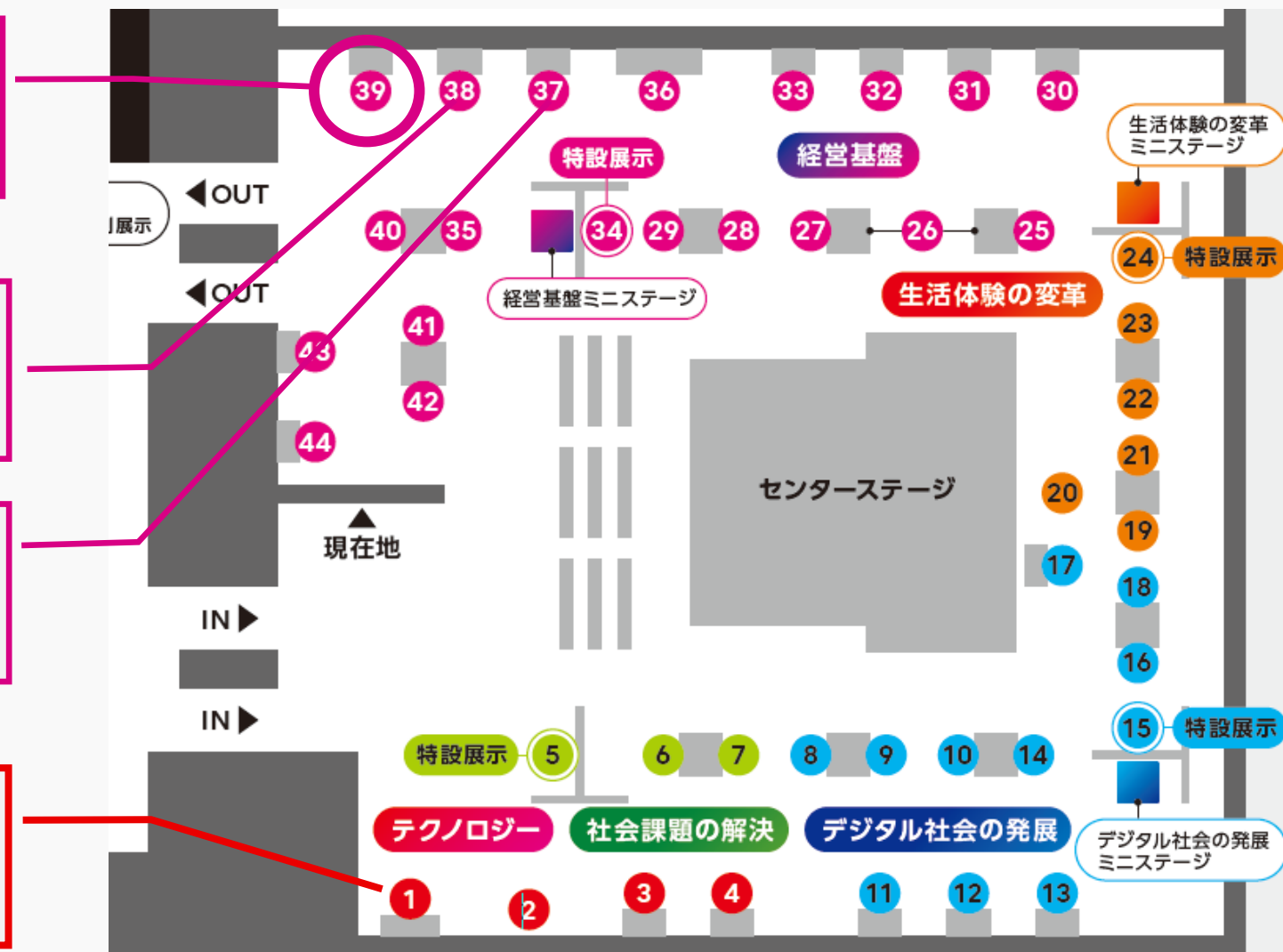
安全に使い続ける

AIエージェントの
業務適用を加速

本日ご紹介内容の展示はこちら

地下2階

- 39** ソブリティを実現する国産AIサーバと機密データの安全なAI活用
- 38** 自律・持続的な価値創出を実現するAI Factory
- 37** AIを拓く、主権と説明責任を果たすソブリンクラウド
- 1** 最先端2nmプロセス採用！国産CPU FUJITSU-MONAKA搭載サーバ





お問い合わせは <https://www.fsastech.com/ja-jp/contact/>

エフサステクノロジーズ株式会社
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 JR川崎タワー